

監査委員の決算審査意見

監査委員 荒木昭雄  
監査委員 下村 宏

平成23年度は、3月11日の東日本大震災や原発事故による被害に対応し、災害復旧や防災関連工事、避難者の受入れ、放射線量の測定、除染工事などに追われた1年であった。

こうした環境の下で、美浦村の財政状況も更に厳しさを増しており、毎年減少を続ける村税収入は、前年度に比べ1.1%減少し、国庫支出金も34.1%減少しました。東日本大震災による災害復旧費、災害救助費、防災・減災関連事業の歳出増加に伴う特別交付税や県支出金の増加等により、歳入全体としては、前年度に比べ3.4%の増となりました。

しかしながら、災害関連収入を除けば、前年度と同

様に、減収による財源不足分を地方交付税と臨時財政対策債で補うという状況は続いており、今後ともこの傾向は続いていくことになると考えられます。

《財政基盤の確立》

財政基盤は全体的には悪化の傾向にあります。

村の基幹的財源である村税など自主財源の減少も要因の1つでありますので、極力、財政の硬直化を招かないよう、企業誘致等による中長期的な地域経済活性化対策も図りながら、雇用と安定的財源の確保を図り、財政の健全化に努めていただきたい。

《不納欠損》

厳しい財政運営の中で大きな歳入減であるばかりでなく、納税の公平性という観点からも問題があります。

村税、国民健康保険税、介護保険料等が納期限までに納められず滞納されるこ

とは、事業推進や行政運営に大きな支障を来すことになり、滞納者の実態の把握に努め、関係課との連携を密にし、早め早めの適正な対応等による納税対策の更なる強化を図っていただきたい。

《予算の執行》

一般会計の農林水産業費と土木費の予算執行率が、大変低くなっている。

所管する特別会計への繰出しは、事業運営に呼応した適正な執行をしていただきたい。

《国民健康保険特別会計》

医療費抑制のために、健康診断や各種検診の積極的な利用を呼びかけ、医療費を抑制するよう努めていただきたい。

《農業集落排水事業特別会計》  
・《公共下水道事業特別会計》

今年度は不用額の大部分が予測の難しい施設管理費

であったにもかかわらず、不用額が大きく減少したことは、精度の向上に努力した結果であると評価します。

《水道事業会計》

村内人口の減少に伴い、給水人口や給水収益が減少しつつある。

今後とも加入促進を図るとともに、増加しつつある滞納金の徴収と併せて経費削減に努めていただきたい。



決算審査特別委員会